

目 次

研究の視点と方法	133
1 主題設定の背景	133
2 研修会受講者対象のアンケート調査にみる教員の課題意識	134
3 研究の方法	134
4 指導事例の作成について	135
指導事例	
(小学校 ADHDの傾向がみられる事例)	
1 落ち着きがなく学習が定着しない児童に対する通級指導学級の指導と在籍校での校内支援の充実により改善がみられた事例 (小2年)	136
2 友達とのトラブルが多い児童に校内通級の利点を生かした指導を行い改善がみられた事例 (小4年)	138
(小学校 LDの傾向がみられる事例)	
3 読み書きに困難がある児童に得意な面を生かした指導を行い学習意欲を高めた事例 (小2年)	140
4 対人関係の苦手な児童がソーシャルスキルを身に付けて言語によるコミュニケーションがとれるようになった事例 (小6年)	142
(中学校 ADHDの傾向がみられる事例)	
5 注意の集中や読み書きに困難がある生徒が中学校から通級指導を受け始め改善がみられた事例 (中2年)	144
6 対人関係に困難があり不登校になった生徒が通級指導学級に通い人とのかわりに改善がみられた事例 (中3年)	146
(中学校 LDの傾向がみられる事例)	
7 空間認知や対人関係に困難がある生徒に早期から適切な対応がとられた事例 (中2年)	148
8 学習の遅れから不登校になった生徒が通級指導学級に通い自己表現力を付け意欲的な学校生活を送ることができるようになった事例 (中3年)	150
研究のまとめ	152
1 指導事例についての考察	152
2 通常の学級における指導の在り方について	154
3 成果と課題	155
4 資料	156